

一般社団法人 日本貿易会

Japan Foreign Trade Council, Inc.



広報委員会：伊藤忠商事 稲畑産業 岩谷産業 兼松 興和
CBC JFE商事 住友商事 双日 蝶理 豊田通商 長瀬産業
日鉄住金物産 阪和興業 日立ハイテクノロジーズ 丸紅
三井物産 三菱商事

(社名五十音順)

第10回 日本貿易会賞 懸賞論文募集

テーマなど募集の詳細は、6月中旬発表予定

www.jftc.or.jp/discourse/

賞 金：日本貿易会賞 大賞 100万円 1点
優秀賞 20万円 3点

言語：日本語もしくは英語

応募資格：不問(年齢・国籍等は問いません)

応募締切：2014年9月12日、日本時間24:00

審査委員長：経済産業研究所 理事長 中島厚志氏

審査副委員長：中央公論新社 中央公論編集主幹 兼編集長 安部順一氏

専修大学経済学部教授 伊藤恵子氏

※問い合わせ先 日本貿易会 広報グループ
(03)3435-5964 e-mail:kouhou@jftc.or.jp

アジア市場の重要性と商社の役割

世界経済の中で存在感が高まり続けているアジア経済。経済成長寄与率の高いアジア各国で、強固なサプライチェーンを構築している日本企業と商社に求められる役割も比例するように拡大を続けている。日本が掲げる成長戦略の中で、海外の成長を取り込む国際展開戦略の重要な柱であるインフラ整備と広域経済連携は、グローバル経済の高度化に大きく貢献する。こうしたなか、アジア経済の成長に寄与する日本の施策と商社の機能的重要性について、日本貿易会(JFTC)に聞いた。

著しい経済成長で存在感高まるアジア市場
最近中国・インドなど一部の国において経済成長の減速が見られるものの、今後も世界経済をけん引する役割自体に変化はなく、世界市場における存在感は一層高まっている。

国際通貨基金（IMF）によれば、期間別（1980～2000年と2000～18年で比較）の世界の経済成長に対する寄与率では、中国が4・6%から21・1%へ、インドが1・3%から3・8%、ASEAN5カ国（インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム）が1・3%から4・2%と並み上昇率が顕著となっている。

特にアジア各国市場のボリューム・ゾーンである中間層の伸びが大きくなり、これが今後の経済成長を裏付ける大きな要因の一つである。

今後さらなる経済発展を目的とするアジア地域では、省エネや環境技術関連などを含むインフラ整備は不可欠で、インフラ需要はますます拡大するものと期待される。アジア開発銀行によれば、2010～20年に必要な柱として、インフラ総投資額は累計で8兆㌦に達すると予想されている。

昨年6月に政府から発表された「日本再興戦略」に取り込む国際展開戦略の重要な柱として、インフラシステム輸出を位置付けており、その意味でもわが国にとってアジア市場はますます重要なマーケットである。

インフラ需要ますます拡大する
正が見られる現在にあっても、アジア展開の重要性と拡大傾向は継続する見込みである。

の高度化は経営戦略上不可欠であり、アジア各国での資金供給や過度な円高の修復が見られる現在にあっても、アジア展開の重要性と拡大傾向は継続する見込みである。

の進歩を積極的に提言していいる。アジアにおける主要な経済連携の推進は、域内閣に、我が国企業による対外投資の保護・促進、国際的な規制下、撤廃とともに、さまざまな役割を果たしている。

は、当該国の需要や地域特性などの情報収集・分析を通じた案件の発掘と提案、および資金調達の枠組みを確立する役割を果たしている。

は、ミャンマーのティラワ、ダウエー地区などの工業団地をはじめ、インドネシアの経済回廊構想、インドのデリー・ムンバイ産業大動脈などがあげられる。

手配相手政府関係者との交渉、管理・運営では事業コストを管理しながら利益を確保する経営を担っている。アジアにおける主な真

体的インフラ事業として、ヒト・モノ・カネ、情報の自由な動きを図り、なかでも上述した強固なサプライチェーンの構築に大きく貢献する。

建設ではロジスティクスの手配、相手政府関係者との交渉、管理・運営では事業コストを管理しながら利益を確保する経営を担っている。アジアにおける主な真

体的インフラ事業として、ヒト・モノ・カネ、情報の自由な動きを図り、なかでも上述した強固なサプライチェーンの構築に大きく貢献する。

は、ミャンマーのティラワ、ダウエー地区などの工業団地をはじめ、インドネシアの経済回廊構想、イン

ドのデリー・ムンバイ産業大動脈などがあげられる。

手配相手政府関係者との交渉、管理・運営では事業

コストを管理しながら利益を確保する経営を担っている。アジアにおける主な真

体的インフラ事業として、ヒト・モノ・カネ、情報の自由な動きを図り、なかでも上述した強固なサプライチェーンの構築に大きく貢献する。

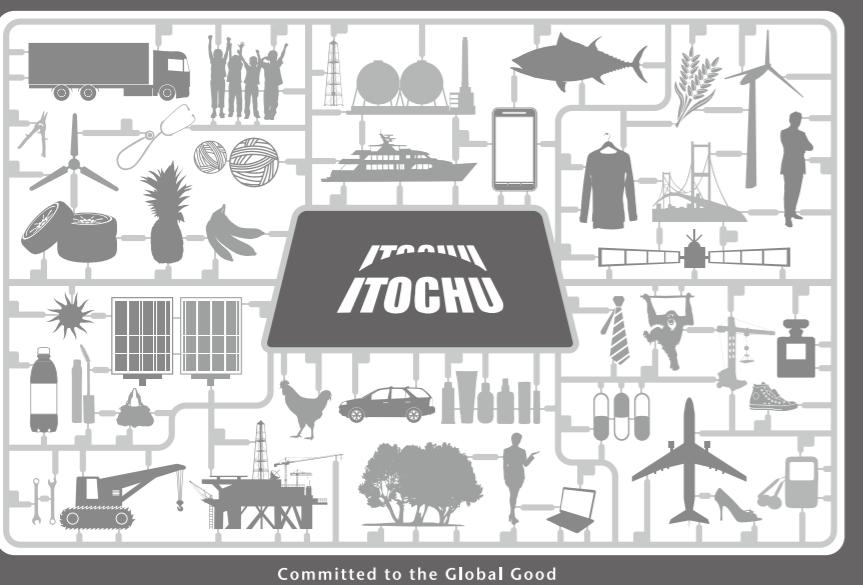
建設ではロジスティクスの手配、相手政府関係者との交渉、管理・運営では事業

コストを管理しながら利益を確保する経営を担っている。アジアにおける主な真

体的インフラ事業として、ヒト・モノ・カネ、情報の自由な動きを図り、なかでも上述した強固なサプライチェーンの構築に大きく貢献する。

建設ではロジスティクスの手配、相手政府関係者との交渉、管理・運営では事業

We Build Global Value Chains



道に夢。人に力。大地に輝。

豊田通商の活躍フィールドは広大。長年にわたるモビリティ分野での経験・ノウハウを活かし、ライフ＆コミュニティやアース＆リソースの分野でも現地社会に貢献しています。

私たちは現地と生きる『価値創造商社』です。



絵本でつなぐ、こどもたちの地球と未来

総合商社の、つぎへ 三菱商事

**国際分業の一環から
サプライチェーン構築**

グローバル経済が進展するなか、日本企業は生産コストの削減や円高に対応するため、国際分業の一環として積極的なアジア展開を行っており、日本企業にとっての強固なサプライチェーンを構築している。今や、日本企業にとってのサプライチェーン

**アジアと日本が目指す
経済連携**

日本貿易会ではこれまで特集でも意見広告をしていましたが、「アジア太平洋自由貿易圏（FTAAP）の実現」を目指すべく、その道程として、RCEP（ASEAN+6）、日中韓FTAなどのアジア地域における強固なサプライチェーンを構築していく。

成・ファイナンスの段階で

**ボーダーレス化のなか
広がる商社の役割**

その結果、JICA海外投融資の再開やテロなどの有事の際のNEXI海外投資保険の条件緩和を盛り込んで、貿易保険法改正などで、日本貿易会の要望が着実に実現している。

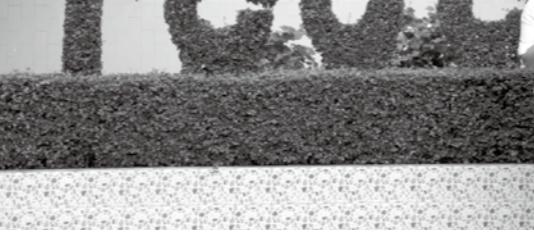
日本貿易会の新キャッチフレーズ

つなぐ世界、むすぶ心～新たな英知で世界に貢献～

本年5月30日付にて、日本貿易会の会長は、三井物産・鶴田松嶺会長に代わり、新たに伊藤忠商事・小林栄三会長が就任し、「つなぐ世界、むすぶ心～新たな英知で世界に貢献～」という新キャッチフレーズを発表した。まさに、アジアをはじめとする世界各国で

ボーダーレス化が進展するなかで、商社業界の英知を結集。日本が世界と広くつながり、ビジネスだけではなく、多様な価値観を持つ世界の人々としっかり心を結び合っていくことで世界経済と社会の発展に貢献すべく積極的に提言活動などを展開している。

sojitz 双日グループは、誠実な心で世界を結び、新たな価値と豊かな未来を創造します。



双日株式会社

www.sojitz.com

アジアのこれからをともにつくりだす。

豊かな未来を、たしなみ仕事でカタチにします。

住友商事

<http://www.sumitomocorp.co.jp>

世界中で、
挑戦と創造。



無限の可能性を求めて、新たな未来を切り拓く。

三井物産
www.mitsui.com.jp

アジアの未来に期待する、丸紅の奨学基金です。

丸紅は奨学基金制度によってアジア諸国の学生を支援しています。 Marubeni